

試験研究成果普及情報

部門	花 植 木	対象	普 及
課題名：鉢物用トルコギキョウの適品種及び施肥法			
〔要約〕分枝性、草姿のバランス、ボリュームが良好な品種は、「サファイアシリーズ」（パンアメリカンシード）の3品種である。施肥は、基肥として培土1L当たり窒素300～450mg、生育初期の追肥として4.5号鉢1鉢当たり500～700mgが適当である。			
キーワード：鉢花、トルコギキョウ、シクラメン後作、施肥			
実施機関名	主 査	農業総合研究センター生産技術部花き緑化研究室	
	協力機関		
実施期間	2004年度～2006年度		

〔目的及び背景〕

本県の主要な鉢花であるシクラメン栽培の後作として有望な品目が望まれている。そこで、トルコギキョウの鉢物用品種に着目し、鉢花として優れた特性を備えた品種の選定、並びに基肥量及び生育初期の追肥量を明らかにする。

〔成果内容〕

- 1 サファイアシリーズ（パンアメリカンシード）の、「サファイアピンクリム」（白にピンクの覆輪）、「サファイアブルーインプ」（濃いブルー）、「サファイアブルーチップ」（白にブルーの覆輪）が、分枝性、草姿のバランス、ボリューム、花蕾数の点で優れた品質の鉢花となる（表1）。
- 2 鉢上げ時の基肥量は、培土1L当たり窒素300～450mgが適している（表2）。
- 3 鉢上げ後の生育初期の追肥量は、4.5号鉢1鉢当たり窒素500～700mgが適している（表3）。

〔留意事項〕

- 1 10月下旬から11月上旬の播種では、5月下旬から6月上旬に開花する。その際、発芽までは昼夜20～22℃、発芽後、開花までは昼温20℃前後、夜温最低15℃を目安に管理する。
- 2 発芽後鉢上げまでの育苗中は、定期的（7～10日に1回）に液肥（窒素：60～100ppm）を施用する。
- 3 播種後11～12週、本葉2対（4枚）で4.5号鉢に1株を定植する。
- 4 灰色かび病、スリップスの被害を受けやすいので早期防除に努める。

〔普及対象地域〕 県下全域

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]

表1 品種の違いがトルコギキョウの生育・開花に及ぼす影響

品種	開花日	草丈(cm)	節数	地際部側枝数	中上位側枝数	着蕾数
サファイアピンクリム	6月17日	21.0	4.7	5.6	4.9	30.8
サファイアブルーインプ	6月12日	19.3	4.7	4.6	5.6	19.6
サファイアブルーチップ	6月19日	21.6	5.1	5.7	4.1	39.1
フォーエヴァーブルー	6月15日	30.1	6.5	3.0	7.0	24.1
F1ティラミスバイオレット	6月18日	34.3	6.2	0.3	5.7	17.3
F1ティラミスムーン	6月19日	27.1	6.5	0.0	5.7	17.1
ピンクコロネット	6月20日	17.2	6.4	0.0	3.8	8.9

注1) 播種日:11月1日、鉢上げ日:1月20日、鉢替え日:4月16日 夜温管理:最低10℃

表2 基肥量の違いがトルコギキョウの生育・開花に及ぼす影響(サファイアブルーチップ)

試験区	開花日	草丈(cm)	節数	地際部側枝数	中上位側枝数	着蕾数
0g/L(N:0mg)	6月14日	24.4	7.9	3.3	10.1	66.2
1g/L(N:150mg)	6月13日	26.1	7.7	3.9	8.8	86.7
2g/L(N:300mg)	6月7日	29.8	8.4	5.4	10.0	144.2
3g/L(N:450mg)	6月10日	31.1	9.2	6.1	9.8	165.4
6g/L(N:900mg)	6月11日	35.7	10.1	6.6	11.1	207.6
8g/L(N:1200mg)	6月11日	31.7	9.4	6.8	9.8	206.4

注1) 播種日:10月25日、鉢上げ日:2月7日 夜温管理:最低15℃

2) 試験区名は、培土1L当たりの緩効性粒状肥料(N:P:K=15-15-10)の施用量。

3) 追肥は、窒素60ppmの液肥を週1回、粒状化成肥料(10-10-10)を3/14、4/7の2回、鉢当たり3g施用した。

表3 生育初期の追肥量の違いがトルコギキョウの生育・開花に及ぼす影響(サファイアブルーチップ)

試験区	開花日	草丈(cm)	節数	地際部側枝数	中上位側枝数	着蕾数
0g/鉢(N:0mg)	6月10日	25.7	7.4	5.5	9.5	65.3
2g/鉢(N:200mg)	6月10日	28.2	8.0	6.2	9.0	99.0
3g/鉢(N:300mg)	6月8日	26.4	7.8	5.5	9.3	98.6
5g/鉢(N:500mg)	6月9日	28.1	7.9	5.4	10.0	119.4
7g/鉢(N:700mg)	6月11日	30.0	7.9	5.9	10.4	129.1

注1) 播種日:10月25日、鉢上げ日:2月7日 夜温管理:最低15℃

2) 試験区名は、生育初期2月17日の1鉢当たりの緩効性被覆肥料(N:P:K=10-10-10)の施用量。

3) 基肥は、培養土1L当たり緩効性粒状肥料(6-40-6)を2g施用した。

2回目の追肥として、4月5日に粒状化成肥料(10-10-10)を鉢当たり3g施用した。



写真 1

サファイアブルーインプ



写真 2

サファイアピンクリム



写真 3

サファイアブルーチップ

[発表及び関連文献]

千葉県農業総合研究センター生産技術部平成16年度花き緑化試験成績書

千葉県農業総合研究センター生産技術部平成17年度花き緑化試験成績書

[その他]